



日本共産党・前県会議員

2021年5月号

加藤なを子



県政へかけ橋 活動レポート

発行：日本共産党・加藤なを子事務所

<連絡先> 藤沢市藤沢2-3-2

TEL 0466-25-4776 FAX 25-4761

PCR検査、もっともっと広げて!



新型コロナウイルス対策を

5月13日、加藤なを子前県議員と、日本共産党藤沢市議会議員団は、鈴木恒夫市長に対して「新型コロナウイルス感染症対策について」、第4回目の申し入れを行ないました。

- PCR等検査を抜本的に拡充すること。国や県に財源を求めつつも、市として財政調整基金などを積極的に活用することなど5項目。
- ワクチン接種に関して。予算をしっかりと、市民の声を聞きながら、様々な問題解決を図る。
- 医療機関への減収補填、医療従事者への支援。妊産婦への経済的支援など。
- 東京五輪は中止するよう国、都に申し入れを。
- 市民活動を停滞させないよう、公共の会議室など使えるように。

藤沢市へのワクチン供給量

4月12日の週	795回分
4月19日の週	795回分
5月3日の週	10,725回分
5月17日の週	52,560回分



各種支援制度

- ★売り上げが50%減の店・・・国の一時支援金（法人60万円、個人20万円）。国の月次支援金
- ★売り上げが20%以上減の店・・・市の事業継続支援金（法人40万円、個人20万円）
- ◎県の時間短縮営業協力金・・・*対象期間4/1～日数×4万円、*4/20～日数×2.5～7.5万円
5/12～31 日数×4～10万円

花だより

花言葉は「上品な美しさ」♪ブンブンブン、ハチが飛ぶ。

お池の周りに野ばらが咲いたよ!の歌を思い出しました。母の日は赤やピンク、最近は黄色のカーネーションも色とりどりにありますが、白い野ばらも花言葉どおりで素敵です。



(野ばら)

娘たちからはカーネーションの切り花と鉢植えをもらいました。買い物にいくと花屋さんの



前で若い男性がお花を選ぶ姿や、売り場でプレゼントを探している家族連れの姿も見かけ、ほのぼのしますね。誰かに感謝することを忘れ、それが当たり前になりがちなのですが、私たちにあらためて「ありがとう!」の気持ちをおこさせてくれる母の日です。

(ユニークなブラシの木)

聖火ランナーに子どもたちが伴走？

観戦チケットを配る??

シティキャスト (都市ボランティア) 体験に中学生・高校生 200人？



コロナ禍、子どもたちの参加は中止すべき

学校連携観戦チケットの購入で、セーリングや横浜のソフトボール観戦チケット、聖火ランナーと中学生を伴走させるサポートランナー募集、シティキャスト (都市ボランティア) 体験・中高生募集など、県も市も子どもたちを東京五輪に動員させようとしています。

コロナによる感染拡大のリスクが高まっています。

子どもたちの命と健康を守る立場で、これらは中止すべきだと共産党市議団と一緒に申し入れを行ないました。



「安全」を証明していない

15日の赤旗に掲載された小説家の真山さんの言葉に「安心」は人の心の問題だが、「安全」は具体的に数値化すべきもの。ところが組織委員会は「安心」を強調するばかりで、数値を出して「安全」を証明していないと。しかも参加できる選手だけで開催するのは、五輪の精神から外れていると。その通りだと思います。

東京オリンピック、パラリンピックは中止するよう、国や東京都に申し入れを！

19日現在、54の自治体がホストタウンを断念した、という報道があります。事前合宿が中止になる状況は、新型コロナ感染終息の見込みがないままでは、今後も相次ぐことが予想されます。

先日、善行での議会報告会がありましたが、県立スポーツセンターを使っただけの、事前合宿の利用について、「県民に使わせていないのに、外国の選手に使わせる優遇は、許されるのか？」「近隣住民への感染リスクはないのか？」「セーリング競技での、選手や関係者による感染者を、市民より優先して再入院受け入れはおかしい」と疑問の声が出されました。

憲法は希望 5月3日 憲法記念日



辻堂駅で市民の皆さんが呼びかけた「今こそ憲法を守り・活かす 改憲発議ストップ」藤沢アピール行動が行なわれました。憲法9条変えるな、の声をあげ、改憲発議に反対の署名を呼びかけ、それぞれがリレートークを行ないました。

憲法変えるな！

政治を変えよう！

コロナで国民の命が脅かされている時に今がチャンスだと改憲を狙うなど許せないと怒りの声があふれました。

安心して平和な世界に暮らしたい、生活の不安なく、幸せに暮らしたい、

生き生き仕事をしたい、み～んな憲法で保障されている私たちの権利です。憲法をくらしに生かそう。

